

第4回「論語三代」趣意書

社会福祉法人 福生会
理事長 谷口 宗弘

子どもたちが大人になった時、幾多の苦難から彼らを支えてくれるよう願って論語三代を始め、今年には五年目を迎えることになりました。この趣旨にご理解ご協力を頂きましたことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

申すまでもありませんが、人が生きていく上で最も大切な柱が二つあります。一つにはまず健康でなくてはなりません。健康でなければ何をしようにも動きが取れません。これが表に見える柱だとすれば、もう一つ、表に見えない柱があります。それが心、精神的な柱です。

この精神的な柱はいつごろ形成されるかという点、「三つ子のたましい百まで」というように就学前の三、四歳頃であるといわれます。就学前教育が注目されるのはこうした訳です。

教育といっても読み書き算盤のことを申しているわけではありません。好ましい生き方や考え方の基礎、習慣を身に付けるのがその目的となります。論語はまさしくその目的に適切な教材と言えます。

今年も安岡定子先生をお招きし賀茂保育園の園児と舞台上で論語塾を、その後に先生のご講演を頂戴します。今年のテーマは「勇者は懼れず」。どんなお話が伺えるか楽しみにしております。

第4回福生会「論語三代」祝辞

三朝町長
吉田秀光

今年度も、子ども向け論語教育の第一人者である安岡定子先生をお招きし、「論語三代」が盛会に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、福生会におかれましては、賀茂保育園の指定管理者として、本町の児童福祉の増進に多大なご尽力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、論語は中国の大思想家「孔子」とその高弟の言行・思想を記録した書物であり、人生を豊かにする至極の言葉が多く記されています。子どもたちが、その言葉に触れることにより、教育上の成果のみならず、相手を思いやる心が育む良い機会として捉えております。

そして、「論語の素読」は賀茂保育園の魅力の一つとして定着して、子どもたちの心の成長に大きな成果を上げていただいておりますので、今後とも本町の子どもたちが、心身ともに健全に育ち、豊かな人間性を育てていくためにも、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

このたびの「論語三代」が成功し、子どもたちの生きる力の体得、育成につながりますことをご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。